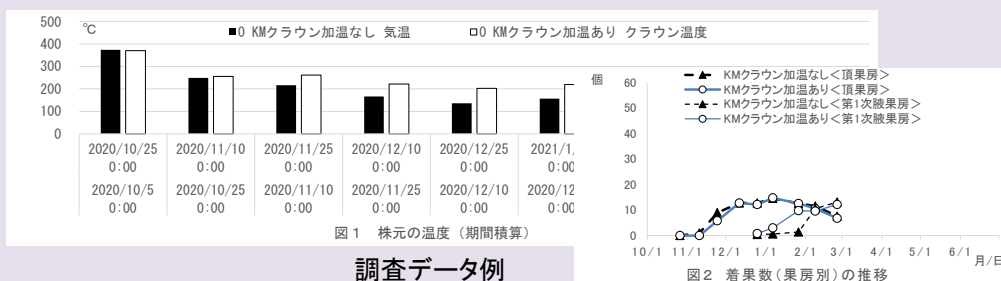


【全体概要】

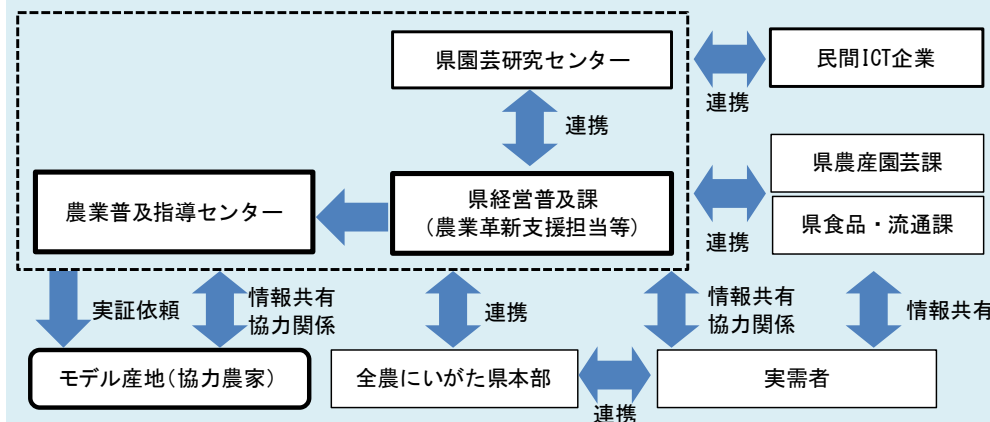
本県のいちご栽培では、冬季の積雪・寡日照条件によって、草勢低下や生育遅延による収量低下等、出荷量の変動が課題となっている。
そこで、クラウン加温設備等の導入が進みつつある県内モデル産地で、ハウスの施設内環境モニタリングと時期別生育データ等との関連を分析し、環境制御の改善方法を検討する。あわせて、熟練農業者の管理手法をモニタリングし、技術の「見える化」を図り、新規就農者等への早期の技術継承を図る。

新品種・新技術等の概要

- 1 品種 越後姫
- 2 新技術
 - (1) いちご「越後姫」の促成栽培におけるクラウン加温の効果
 - (2) いちご「越後姫」におけるCO₂の日中低濃度施用による収量向上
 - (3) 施設内環境(温度、湿度、炭酸ガス濃度、日射)モニタリング



実施体制図



主な取組内容

- 1 施設内環境モニタリング現地実証
 - 2地区のモデル産地で現地実証ほを7か所設置し、新技術の実証、施設内環境モニタリングと生育調査等を実施した。
- 2 検討会の開催
 - 実証ほ設置検討会・中間検討会・成績検討会・現地研修会を開催し、調査結果等の分析を行い、最適な環境制御方法を検討した。
- 3 栽培・技術マニュアルの作成
 - いちご「越後姫」栽培の環境制御資料(途中経過)作成し、検討会において検討した。
- 4 熟練農業者の管理手法モニタリングにより、技術の「見える化」を行い、新規就農者等への技術継承を図った。



現地研修会

課題と今後の対応

- 1 課題
 - 実証により収集した環境データや生育データ等を、関係機関や協力農家と分析検討したが、1年目の検討結果をふまえ、更なるデータ収集・分析が必要。
- 2 今後の対応
 - 2地区のモデル産地で現地実証ほを7か所設置し、施設内環境モニタリングと生育調査等を実施する。
 - 検討会を開催し、環境データと時期別生育データ等との関連づけ分析を行い、最適な環境制御方法を検討する。
 - 検討結果から、いちご「越後姫」の栽培・技術マニュアルを作成する。



モニタリング機器と生育調査